



生物生産学部の理念

生物生産学部は、人類の持続的生存と福祉の向上に貢献できる人材を養成するため、次の理念をもとに教育・研究を行います。

- (1) 生物圏の環境保全
- (2) 環境に調和した食料の生産
- (3) 健康で豊かな食の創成
- (4) 生物資源に関わる知の創造
- (5) 地域と国際社会への貢献

生物生産学部の目的

生物生産学部は、環境と調和した持続可能な食料生産及び生物資源の活用を目指し、生物及び環境に関わる農学領域の知の継承と創造を通して教育研究を行うことにより、この領域の科学的知識と地球規模の広い視野をもって活躍し、社会に貢献し得る人材を養成することを目的とします。

アドミッションポリシー—求める学生像—

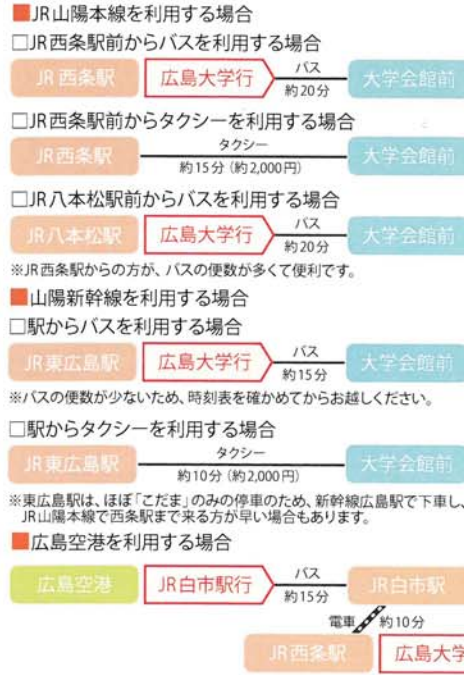
生物生産学部では、環境と調和した持続可能な食料生産や生物資源の有効利用に関する教育・研究を行っています。こうした分野で深い科学的知識と広い視野をもって社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めています。

- (1) 高等学校での基礎的な学力を幅広く身につけ、特に理数科目に高い学力を有する人
- (2) 食料や環境に関して問題意識が高い人
- (3) 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて社会で活躍することを希望する人



生きる、産まれるを科学する

■生物生産学部へのアクセス



■山陽自動車道を利用する場合

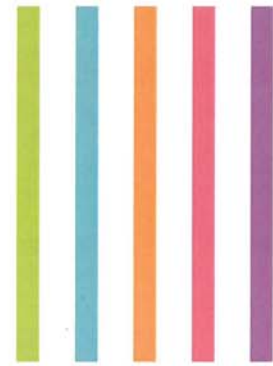


生物生産学部の位置はこちら!

お問い合わせ先
 〒739-8528 広島県東広島市鏡山1丁目4番4号
 広島大学生物生産学部 支援室(学生課程担当)
 TEL 082-424-7915 FAX 082-424-6480
 E-mail sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
 https://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei



支援室へのメールはこちらから!



広島大学

生物生産学部

School of Applied Biological Science, Hiroshima University

学部案内

-  生物圏環境学コース
-  水産生物科学コース
-  動物生産科学コース
-  食品科学コース
-  分子細胞機能学コース

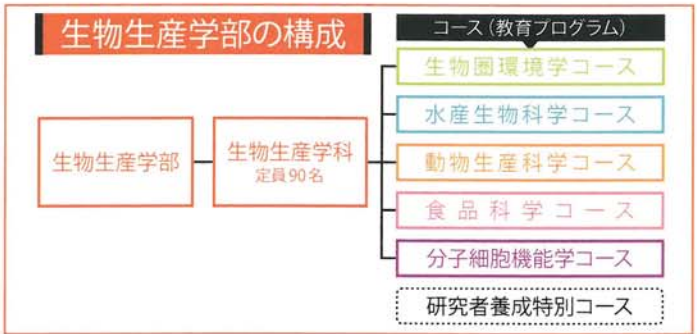


4年間の学びの流れ

2年次前期までは基礎科目を中心に、2年次後期からは5コースのいずれかに配属され専門科目を学びます。各コースでは、講義・実験実習を通して、生物、食料、環境に関する知識・技術・応用展開力の習得を目指します。また関連附属施設を利用したフィールドワーク、農漁業・企業インターンシップ制度、海外演習など実践的な教育も行っています。3年次後期からは研究室に所属し、個々の研究課題に取り組み、成果を卒業論文として完成させます。

カリキュラム	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
2年次後期から、5つのコースへ	教養教育科目		専門基礎科目		専門科目		卒業研究	
							各研究室に所属し、専門教育科目の履修と卒業論文のための研究を行います。	

大学院進学
就職



コース紹介

生物生産学に関わる、自然科学から社会科学におよぶ幅広い知識と知恵が習得できるよう、5つのコースを提供しています。

生物圏環境学コース 環境と調和した資源の有効利用を目指して地球や地域社会の環境課題の発見と、それらを解決するための知識と技術を修得。食料生産や環境変動、植物の生理機能、食料の流通・消費・廃棄などを自然科学と社会科学の視点から学びます。

水産生物科学コース 日本と世界の水産を支える人材育成を目指して生態系の混乱によって存続の危機に陥っている水産生物。水産生物科学と地球環境学を関連づけて理解し、体験的な学習を通して水産資源の保持に貢献する能力を育成します。

動物生産科学コース 動物からの豊かな贈り物に恵まれるために動物の生命機能の理解と、生産・利用技術を融合的に身に付け、動物生産に関わる分野について探究。動物を扱うさまざまな分野で活躍できる実力を幅広く培います。

食品科学コース 健康で豊かな食の創成を目指して食品の味や機能の探究、食品の安全性、人間の健康に影響する栄養や成分など、多彩な領域から食品科学にアプローチ。食品の機能開発に関する基礎知識や技術、応用力を身につけます。

分子細胞機能学コース 分子、細胞レベルから生物を語り、バイオの世界へ微生物や植物、動物など、地球上の多様な生物が持つ機能を解明。食料や医療、環境問題の解決手段として、生物機能を応用できる専門的な思考・知識・技術の修得を目指します。

研究者養成特別コース Active Learningで研究者を目指そう研究者になる強い意志を持つ方は、大学院への進学を前提に「研究者養成特別コース」を履修することができます。その際、上記5つのコースプログラムに加え、特別コースのプログラムを併せて履修します。

教養教育科目を中心に学びます。



専門基礎科目を学び、各コースに分属します。



専門分野をより深く学び、研究室に所属します。




研究室での活動が中心になります。




関連附属施設

生物生産学部では、以下の関連附属施設を学生の教育および研究に活用しています。


西条ステーション(農場) 中国山地から瀬戸内海までの陸域フィールドにおいて、「ヒト」と「動物」との最適な関係の構築、環境と調和した消費者に信頼される安全な畜産物の生産を目指す教育・研究を行っています。




竹原ステーション(水産実験所) 東広島キャンパスから約30kmの距離にあり、瀬戸内海沿岸に位置しています。敷地面積は4,122m²で、屋外水槽・屋内水槽や海面筏も備えています。また、小型調査船も有し、海洋生物の調査に活躍しています。



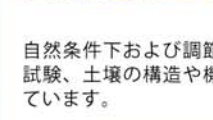
練習船「豊潮丸」 中国・四国地方で唯一の大学附属の練習船で、乗船実習や海洋生物学・水圏環境学の実習などに活用されています。本船は国際航海も可能であり、国内外の多くの大学・研究所との交流を深めています。




食品製造実験実習工場棟 食品製造に関する高度な実践教育に加え、食品の安心・安全の確保、食品の新規機能開発、生物資源からの機能性素材開発等に関する基盤的な教育と研究を行っています。




実験動物舎 鶏・綿羊・山羊などの家畜を飼育しており、安全な肉、卵および乳を生産するための研究を行っています。



精密実験農場 自然条件下および調節環境下での植物の栽培試験、土壌の構造や機能に関する実験を行っています。



日本鶏保護増殖舎 国の天然記念物に指定されている日本鶏品種を多数飼育しています。



●生物生産学部の入試方式

入学試験情報	一般入試	前期日程 後期日程
	総合評価方式	II型(センター試験を課す入試)
AO入試	フェニックス方式	中高年者を対象とした入学制度
推薦入試	国際バカロレア入試	本学部に関連する高等学校の在籍者を対象(センター試験を課す入試)

生物生産学部的一般入試 大学入試センター試験と個別学力検査の両方を用いた選抜です。前期日程は、センター試験に加え、数学・理科・外国語の個別学力検査を課します。後期日程は、センター試験と面接試験となります。例年、募集要項は11月末までに発表・希望者に郵送され、また、ホームページにも掲載されます。

生物生産学部のAO入試 生物生産学部のAO入試は、大学入試センター試験を課す、総合評価方式II型です。さらに、研究者養成型(理数科、普通科の理数系コース、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されている高等学校等に在籍又は過去3年間に日本生物学オリンピックの本選に出場した者)、一般型(普通科、理数科又は総合学科の高等学校等に在籍)に分かれます。選考は、書類選考、セミナー受講とそのレポート提出、面接及び大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が、合格基準点以上であることをもって行います。研究者養成型はセミナー受講・レポート提出が免除されます。なお、研究者養成型で合格した場合、入学後、必ず研究者養成特別コースプログラムを履修することになります。また、生物生産学部では、中高年を対象としたAO入試(フェニックス方式)及び国際バカロレア資格取得者を対象としたAO入試(国際バカロレア)も実施しています。いずれの場合でも、6月上旬に公表される「AO入試学生募集要項」で、詳細を確認してください。

生物生産学部の推薦入試 生物生産学部の推薦入試は、水産、農業及び食品製造などに関連する高等学校在籍者を対象としています。選考は、書類選考、セミナーレポート、面接及び大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が合格基準点以上であることをもって行います。

生物生産学部の編入学 高等専門学校を卒業(卒業見込み)の方、他4年制大学に2年間以上在学(在学見込み)し、62単位以上を修得(修得見込み)の方、短期大学を卒業(卒業見込み)の方、専修学校の専門課程(修業年限2年以上で、総授業時間1,700時間以上)を修了(修了見込み)の方は、生物生産学部の第3年次へ編入学することができます。入学者の選考は、出願書類、TOEIC®/TOEFL®スコア証明書あるいは実用英語技能検定の合格証書、小論文及び面接の結果を総合して行います。4月下旬に公表される「第3年次編入学学生募集要項」で、詳細を確認してください。

